## 2） 稚貝発生量調査

加藤　靖

### 目　　的

松川浦のアサリの再生産状況を把握するために、稚貝の発生状況を調査する。

### 方　　法

平成13年７月19・23日に図４に示す20地点において、表層25cm ×25cm ×深さ約10cm の範囲を角スコップですくい取り、目合い１ mm の篩でふるって残ったものを支場に持帰り、そこからアサリを拾い出し、数と殻長を調査した。

### 結　　果

調査結果を図５に、平成９年～13年までの個数を表２に示す。

今年度の調査点で最も稚貝の数が多かったのは、湾口部の St. １で800個／㎡、次いで地島北側水路沿いの St. ３で480個／㎡、瀬方漁場の St. ４の464個／㎡、揚汐の St. 12の448個／㎡であった。

和田側湾奥部の St. ２、宇多川河口部の St. 13、機械島以南の湾奥部 St. 14から20までは発生量が少なかった。

過去の結果と比較すると、稚貝の発生量は湾口部が多く湾奥部は少ないという傾向は変らないが、量は平成11年、12年より少なく、平成９年と近かった。

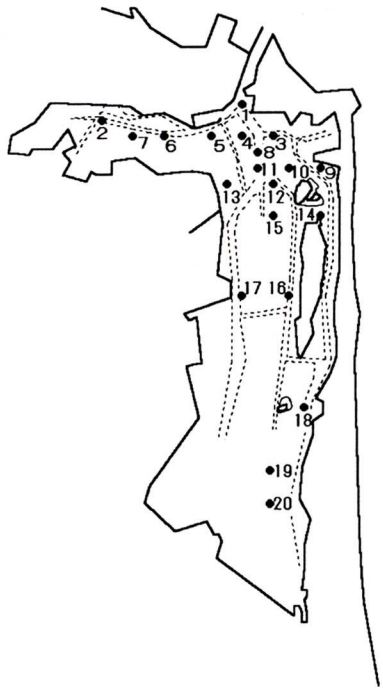


**図４　調　査　地　点**

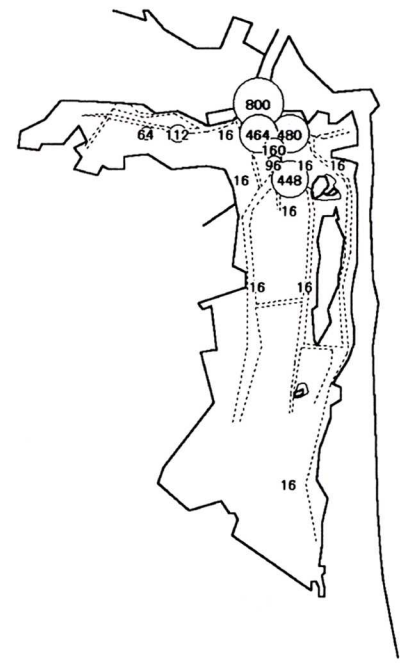


**図５　調　査　結　果**
（数字はアサリ稚貝の㎡当りの個数）